

第1回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日 時 平成26年3月24日(月) 10:00~12:00

場 所 富士見市役所 第1会議室

出席者 ○市民懇談会委員

岩本	川上	新井	前田	世羅	狐塚
○	○	○	○	○	○
山崎	氣賀澤	佐藤	岡田	守山	矢島
○	○	○	○	○	○

○事務局

【地域文化振興課】市川課長、中嶋副課長、大下主事補

【生涯学習課】金田課長、佐藤副課長、榎本主事

1. 開会あいさつ 山田自治振興部長

2. 議 事 岩本座長

(1) 資料確認

事務局より、配布資料の確認を行った。

(2) 協議事項

・自己紹介

参加者と事務局の自己紹介を行った。

・座長の選出について

岩本さんを座長として選出した。

・富士見市生涯学習推進市民懇談会の概要について

事務局より、説明を行った。

・生涯学習推進基本計画のこれまでの経過と今後の取り組みについて

事務局より、説明を行った。

委 員) 27年度の見直しに向けた準備を行うことが当懇談会の役割として考えてよいか?

事務局) これまで審議会で計画の提言書を出して頂いた。今回は懇談会として意見を自由に出して頂くので、計画の見直しを行うかも含めて26年度は

議論していきたい。

・まちづくり講座（通称：出前講座）について

委員）出前講座の実績の集計の中に、難波田城公園で行われている講座の実績は含まないのか？

事務局）難波田城で、市民学芸員が行っている講座は、難波田城では集計しているが、事業の位置づけが異なるのでこちらの出前講座には集計しない。

委員）市内の講座等に関する情報の集約を行っていただきたい。

事務局）生涯学習ガイドブックのなかで、情報を集約し、市民に提供していきたい。

委員）土日や夜間などに講師として職員が出向く際、また講座の準備する時などに職員に大きな負担がかかるのではないか。まちづくり講座を推進するべきと考えるが、職員の負担が課題ではないか。

事務局）各々の出前講座内容については過去からの蓄積もあり、一定のノウハウを持っている。また、担当の予定がつかない場合は内容、もしくは日程の調整をお願いすることがある。

委員）5人以上の団体とあるが、サークルに参加していない人が講座を受けられるような取り組みはあるのか？

事務局）出前講座にはないが、例えば市民大学、コミュニティ大学には個人で参加できる講座がある。

委員）24年度から比べて25年度の出前講座の受講人数が減少したのはなぜか。

事務局）震災から3年経って、安心安全に関する講座の希望が減少した。周知の方法を考えたい。

委員）メニュー内容は、行政が考えているのか？市民に要望を聞く機会はあるのか？

事務局）出前講座は毎回アンケートを行っている。また要望に応えるためリクエスト講座も用意している。

委員）講座のメニューだが、受講希望が無いメニューは変更はしないのか。

事務局）毎年各課に問い合わせを行い、改廃を行っている。しかし、希望がない講座でも、市民の方々の理解を深めていただきたいという観点から続け

ている。

委員) 体育館の屋根の事故やベビーシッター事件など市内で大きな事件が起こった。こういう事件や事故を生涯学習の課題として話し合う機会や、日常生活での工夫を考えていく機会を設ける事はできないか。

事務局) 地域の課題については、様々な機会を通して、共に学び合う機会の提供が必要だと考えている。

・人材バンクについて

委員) 登録者は何人くらいいるのか？

事務局) 174 件登録がある。

委員) 人材バンクに依頼をしたが、全員都合がつかずに断られてしまったことがあった。

事務局) まだまだ登録者が少ないので周知を行っていききたい。

委員) 市民人材バンクをより活用するために、町会にも積極的に利用してもらいたい。

委員) ガイドブックの掲載方法やHPでの周知に工夫が必要である。

(3) その他

3. 閉会あいさつ 岩本座長